

学びのユニバーサルデザイン

～より多くの学生が学びやすい授業の工夫～

星槎大学大学院 教育実践研究科

日本授業UD学会理事

阿部 利彦

*プレゼンテーション資料と一部異なります。ご了承ください。

取り組みの出発点

学びの中でおいていかれる学び手を
少しでも減らしたいという思い

ユニバーサルデザイン

年齢や能力、状況などにかかわらず、デザインの最初から、できるだけ多くの人々が利用可能にすること

利用する人の
視点で

授業のユニバーサルデザイン



学びにユニバーサルデザインの
視点を加える

教員としての願い

より多くの学生に

- ①参加して欲しい
- ②感じて欲しい
- ③考えて欲しい
- ④気づいて欲しい
- ⑤変わって欲しい

授業のユニバーサルデザイン

焦点化

視覚化

共有化

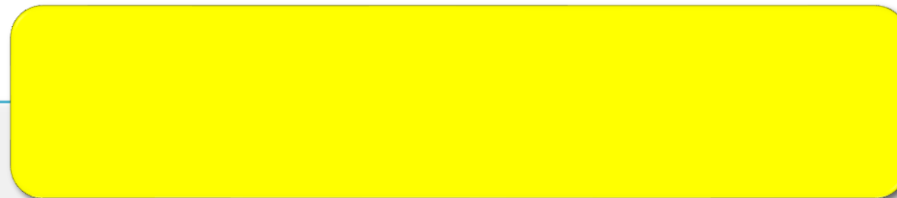
本日のポイント

焦点化

関連づけ (Relevance)

視覚化

注意喚起 (Attention)



ゼミ生（教員）からの問い

看護技術のデモンストレーションを見てから自分たちが演習するスタイルの学習があり、最近の学生はだんだんと「大事な部分を見落とす」傾向が強くなっているように感じます。

ポイントの明確化

焦点化

ゼミ生（教員）からの問い

「近くの人とペアを作って話し合いなさい」と指示をしましたが、一人でかたまってしまう学生さんがいて、どのように支援したらよいか分かりません。

対話スキル

ゼミ生（教員）からの問い

多くの学生たちは分からないことがあってもなかなか質問することができないようです。

質問するスキル

ゼミ生（教員）からの問い

医療現場では様々な状況に注意を払って行動する場面が求められますが、それが難しい学生を臨床現場で指導したことがあります。

少しでも学内教育で習得できればと思うのですが、効果的な指導方法を教えて頂きたいです。

学んだことの転移

教育のユニバーサルデザインとは

目の前にいる学生たちの多様な学び方を
ヒントに自分の授業を見直してみることに

学び手の学び方
から学ぶ

学び手のつまずき
から学ぶ

ゼミで大切にしていること

【授業づくり】

- 授業展開、ストーリー性（文脈）
- 印象に残るキーワード（ポイント）
- 「分からないこと」を聞きやすい場

学生による授業評価アンケート項目

【話し方】

教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい

各講義に関する学生の意見から

- スライドの文字が読みにくい（小さい）
- 次のスライドに移るのが早すぎる
- 図・表などを見やすく、分かりやすくして欲しい

学生による授業評価アンケート項目

【視覚提示】

板書・スライド・資料などが読み取りやすい

視覚化

資料作成

- 文字の大きさ（28ポイント以上）
- フォント（本資料はUDデジタル教科書体）
- 色（カラーユニバーサルデザイン）
- 視覚情報の配置
- スペース

各講義に関する学生の意見から

- 身近な例などを積極的に取り入れてほしい
- 興味をひくような工夫をして欲しい

学生による授業評価アンケート項目

【興味工夫】

学生にとって興味がわくように工夫している

+ 注意喚起 (A)

各講義に関する学生の意見から

毎時間のつながりがわかるようにして欲しい

+ 関連づけ (R)

各講義に関する学生の意見から

- 講義の重要なポイントがどこなのか分かりにくい
- 資料が多すぎて重要な点が分かりにくい

学生による授業評価アンケート項目

【ポイント】 各講義でのポイントが明確に示されている

- ①説明が分かりやすい
- ②重要なポイントが分かりやすい
- ③テストに出るポイントが分かりやすい

焦点化

各講義に関する学生の意見から

- 話すスピードが早い
- ペース配分を工夫して欲しい
- 学生の理解度を確かめて欲しい

学生による授業評価アンケート項目

【理解配慮】

この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

学び手の視点で

各講義に関する学生の意見から

- テキストを読んでいるだけである
- 関係のない話をしないで欲しい
- 教える側にも予習は必要
- 何をどう説明するか、事前に計画を

授業デザイン

皆さんは
ユニバーサルデザインについて
どう思いますか？

15コマの1コマ目の
最初の**問い**としては
唐突過ぎます

見えないことを問う
問い

授業のユニバーサルデザインで大切なこと

問いかけを工夫してみる

問いかけの工夫

- 簡潔に問う
- 平易な言葉で問う
- 見えること問う
- 見えないことを問う問いへと深める

どれがユニバーサルデザインでしょうか？

①



②



③



視覚化

注意喚起 (A)

学生の注意を喚起する
知的好奇心・学習意欲を高める工夫

見えることを問うこと
で注意が向く

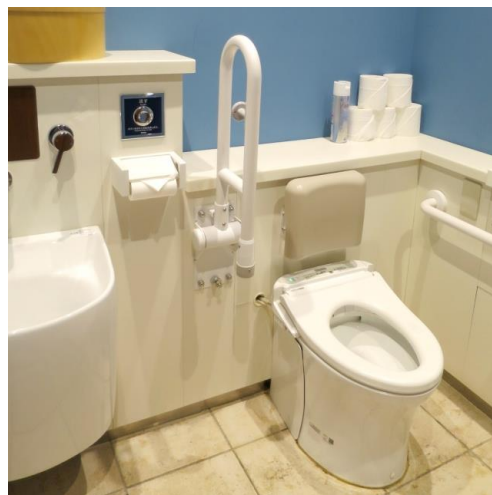
選択肢の工夫

- ①どれも正解
- ②どれも不正解
- ③どれも一部間違っている

授業のユニバーサルデザインで大切なこと

見せ方を工夫してみる
(視覚化)

これらに共通するのは？



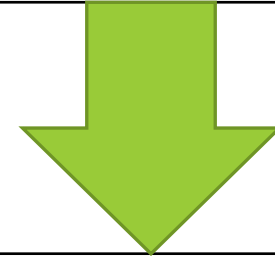
見えないことを問う
問い



見えることを問う問い

- ・ 具体的
- ・ 閉じた問い

+ 関連づけ (R)



見えないことを問う問い

- ・ 抽象的
- ・ 開かれた問い

関連づけ (R) → 「自分事にする」

- 自分の知っていることとやこれまで学んだこととどのようにつながるかを考えてみる
- 新しく習うことに対して比喻や例を考えてみる
- 自分に関心がある得意な分野にあてはめて、わかりやすい例を考えてみる
- 自分なりの言葉で表現してみる

授業のユニバーサルデザインで大切なこと

見せ方と問い方を
セットで検討してみる

発問の目的

(BCIT Learning and Teaching Centre)

- 学生の思考を促すため
- 学習へ動機づけるため
- 学生間での学び合いを促すため
- 学生の既習知識を確認するため
- 教員と学生の間で信頼関係を築くため
- 学習の進み具合を評価するため
- 授業が効果的であったかを評価するため
- 学生が学習内容との個人的なつながりを見出すため

焦点化のポイント →方向づける

- ①授業のねらい（目標）を絞って方向づける
- ②発問の工夫で方向づける
- ③相違点や類似点を整理することで方向づける

授業のユニバーサルデザインで大切なこと

着眼点を明確にする

ノンステップバスは ユニバーサルデザイン (UD)か バリアフリーか話し合う



この場面で苦戦
する学生は？

ノンステップバスは
ユニバーサルデザイン (UD)か
バリアフリーか話し合う

ユニバーサルデザインと
バリアフリーの共通点と相違点に
ついて学生が分かっていないと
話し合いができない

バリアがある



スタートラインを
そろえる

バリアフリーとの違いとか
あるの？

ユニバーサルデザインって
何だっけ？

バリアがある



自分ごとにする

バリアフリーとか知って
何になるの？

ユニバーサルデザインとか
自分に関係ないしな〜



安心して自分の意見を
示すことのできる場に

バリアがある

「人とちがってはいけない」
というバリア

「間違っってはいけない」
というバリア

この活動で苦戦する学生とは

例えば

- ①ユニバーサルデザイン、バリアフリーについて全く知識がない学生
- ②知識はあるが比較検討できない
- ③自分の考え（意見）を持つことができない
- ④意見交換が難しい（対話スキル）
- ⑤他の学生の意見から考えを広げることが難しい

教育のユニバーサルデザインで大切なこと

学び手のつまずきを想定する

学び手のつまずき
から学ぶ

ユニバーサルデザインとは

使う人の立場に立ったデザイン

教育のユニバーサルデザインとは

学ぶ人の立場に立った授業デザイン

学び手の学び方
から学ぶ

むずかしいことをやさしく

やさしいことをふかく

ふかいことをおもしろく

(井上ひさし)

参考文献

- 「ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と 学級づくり」
柘植雅義編著、2014、金子書房
- 「決定版!授業のユニバーサルデザインと合理的配慮」
阿部利彦編著、2017、金子書房
- 「授業のユニバーサルデザインvol.12」日本授業UD学会編著、
2020、東洋館出版社
- 「授業UD研究vol.11」日本授業UD学会、2021